

刊夕 日八十月八

# 常警每日新聞

定価 一円二角  
発行所 常警毎日新聞社  
印刷所 常警毎日新聞社

## 日本精神と神社

石城郡神社總代人大會席上演筆記

國學院大學教授 文學博士 河野省三

従つて我々國民の忠義の心と云ふものも他國とは違ひまして、特に敬神尊皇と言はれて居る。神を敬ひつゝ皇室を尊ぶ。我々の氏神様は皆皇室をお護り申して居る。伊勢の大神宮を中心として日本の神社は皇室を守つて居る。然うして皇室を盛んならしむべくお互ひは働いて居る。それが日本人の忠義である。それから我々の愛國心と云ふのも西洋人の愛國心と違つてけい神愛國と云つて居る。日本人の愛國心は敬神をその基礎として居る。又日本人は敬神觀念を背景として祖を崇拜する敬神が崇祖の中心生命である。夫れで敬神崇祖と云ふのである。之れは皆さんの最もよく耳なれた古い時からの言葉である。日本人の佛教に對する信仰もやはり同様の關係であつて敬神崇佛と云ふ語がある之れは平安朝鎌倉時代から口癖のやうに云はれてゐる言葉であります。日本の敬神と云ふものは有らゆる宗教を容れる。晉に佛教に限らず有らゆる宗教を容れる

所の雅量があります。而も其れを包んで日本化する。日本の信仰たらしめる處に敬神の強い力があります。敬神は有らゆる信仰を容れ有らゆる信仰を日本の信仰として活かして行く。漢學も其の通りで、儒教は日本へ來て敬神崇儒と云ふ方針の下に發達して來た。江戸時代は特に儒教を尊んだが殊に近江聖人、中江藤樹先生は大の孔子崇拜者であります。又非常な敬神家です。遂に藤樹先生御自身が今では神様になつて居ります。實に敬神崇儒で、日本の漢學は敬神に依つて、日本の儒教になつて居る。水戸の學問の本領は敬神崇儒であつた。それは獨り儒教のみならず有らゆる學術思想が敬神觀念に包容され、日本化されるに暗示してをるのであります。敬神と云ふものは然う云ふ廣い強い力を持つて居るのであります。

さういふ力となつてをる。更に日本人の村、町、市を愛する處の日本人の自治體觀念の根源は敬神であるから、敬神愛郷と云ふ語が成立つて居る。鎮守様を背景として、産土神を中心として氏子が生活し、其の土地が發展して居る。そこに敬神愛郷と云ふ獨特の自治體意識があるこれだけ擧げただけでも敬神といふ精神が有らゆる

### 文藝募集

思想を包んで居り、有らゆる方面の生活を日本化して居ることが分りませう。敬神は日本人の生活の中に生きて居る力であり、日本人の生活を日本意識の中に統合するものは全く敬神であります。私の寡聞なる、又研究が尙ほ淺いのでありますが、世界中を捜しても、是れ程廣い包容力と強い同化力を持つた精神といふものを見出したことがありません。之を以つて見ましても、日本精神の内容の豊富であるといふ特色が極めて明らかであります。

藤沼醫院  
平町紺屋町  
電話五〇七番

セメント 磐城セメント株式會社  
壁用材料 代理店 西村屋藥舖  
ペンキ塗料 平町二丁目電三  
板ガラス

旭硝子株式會社製品  
赤菱印 板ガラス  
●菓子食器  
●硝子壺  
其他各種  
松崎硝子製作所  
平町新川町(電話一四二番)  
仙臺市榮町(電話五九七番)  
電話四〇番

旭硝子株式會社製品  
赤菱印 板ガラス  
●菓子食器  
●硝子壺  
其他各種  
松崎硝子製作所  
平町新川町(電話一四二番)  
仙臺市榮町(電話五九七番)  
電話四〇番

内科 難波 睦  
醫學博士  
平町新川端(釜屋新宅向)  
電話五〇二番

玉屋洋品店  
平町田町通電話六五六番



CAFE SEKAI  
紅、そして青の灯の下に  
美女のくむ緑酒を知る御身よ  
さらば來り召せ  
吾が世界のハレムへ。  
カネ子音界  
美しいオアシス世界の麗女は  
いと久しく御身の來るを  
心して待てる...

毎度御ひいき  
有難ふ御座ります  
うなぎの御用命は  
うなぎ奴  
平町田町(電話二二番)  
ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

耳鼻咽喉科専門  
氣管食道科  
平南町(電話一七〇番)  
大和田醫院

三井  
タクシー  
電話六八五番



# 新任平署長

## けふ初登廳

### 新任の感想を語る

新任平警察署長小田部秀雄氏は昨日來任、けふ初めて平署の署長椅子にドカリと腰を掛け元氣でニコヤカに語る。

「平署は全然初めての着任ですが刑事課長の時代に白水の五人殺しや警炭の争議で来た事がありますので管内の模様は臆氣ながらのみ込んで居ります。夫れに前署長として評判のよかつた

伊藤君は縣廳内でも暫らく一緒に居りました關係上退職後の同君が平町に居らるゝ事は何彼につけて力強く感じて居る。

私の父は栃木縣で郡長をやつて居た事があります。が少年時代に寺の小僧に住込んだ際前の關御井嶽の住職旭純法師(現京都智山派管長)が弟子であつたとの事です云々」

# 東日機が

## 小名濱に不時着

### 發動機の故障から

石城郡小名濱町上空で昨十七日午後四時半一臺の飛行機が故障を起して危く墜落せんとして同町西海岸に不時着陸したが同機は東日機にて入江飛行士操縦盛岡に向ふ途中發動機に故障を生じたもので今十八日朝までに修繕を了して午前十時無事盛岡へ向けて出發した

# 手工教授

## 細目を決定

既報平町各小學校にては本年六月より文務省の指令に依り手工科を設け尋常科の生徒に對し各々教授して居

學年に準じ稍程度を高めたる切抜及簡易なる厚紙細工(粘土細工)第二學年に準じ稍程度を高め更に建物、模様等を加ふ

▽第四學年(紙細工)建物、日用品等の厚紙細工(粘土細工)第三學年に準じ稍程度を高めたるもの

▽第五學年男(竹木細工)簡易なる頑具、日用品等其他

# 検査を受けねば

## 最高廿圓の罰金

### 平町の度量衡検査

## 日割が決定

既報平町の度量衡器検査は平署會議室に於いて八月廿二日より執行される筈であるが右検査に提出せぬ者は二十圓以下の料りに處せられるので町役場では本日夫々注意書を發したが平町各區の下調及検査日割左の如くである

(下調八月廿二日、検査廿七日)長橋、研古、紺屋町、材木町、一丁目、田

(下調廿三日検査廿八日)鍛冶町、鎌田、立町大工町、鐵道官舎、久保町、八幡小路、舊城跡

(下調廿四日検査廿九日)二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、南町

(下調廿五日検査三十日)新川、月見町、堤ノ内、北目、胡摩澤、北白銀、仲間町、南白銀、才樋小路

# 自殺すると

## 遺書を残して

### 十八娘が家出

平町長橋町佐藤治郎方同居人双葉郡熊町辰治四女田中シヨ(八)は六月頃より不治の病氣治療の爲め親戚に當る前記佐藤方より病院に通つて居たが全快する見込みがないので前途を悲觀した結果今朝五時頃自殺す

### 明日のラヂオ

十八日

今晚は晴れたり曇つたり驟雨模様あり明日は晴曇相半す

天氣豫報

### 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間  
兒童劇「羊は狼に喰はれるか」名古屋子供劇場  
後六、三〇 夏期英語座  
(十五)八十太郎  
後七、三〇 講演  
後八、〇〇 連續講座「朝鮮事變と天津條約」終席  
伊藤痴遊

### 明日の部

前六、三〇 家定教育講座

### 「親と語る」

東京女子師範學校教授倉橋惣三  
前七、〇〇 エスベラント講座(四)日本エスベラント學會國際常設代表進藤靜太郎

前七、三〇 夏期兒童講座「梅の王様」宮城縣仙臺第二中學校教諭佐々木喜一郎

前九、一〇 料理献立「鮎の酢物」中村光二

前一〇、三〇 「新らしき舞踊」四 高田せい子

後一〇、〇五 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ 指揮瀧戸口藤吉

後一、三〇 運動競技(雨天順延)全國中等學校優勝野球大會狀況(甲子園野場より中継)

後六、〇〇 子供の時間  
お話「零下二百七十三度」戸波親平

後七、三〇 講演「物理學の街頭進出」柏木好三郎

後八、〇〇 少女歌劇「狂亂橋供養」寶塚少女歌劇月組生徒

後八、四〇 哥澤(後朝)外 哥澤芝艶哥澤芝壽香  
越やくさ道場「竹本嘯虎伴奏指揮小澤良吉

# 勿來町に再た

## 豚コレラ發生

石城郡勿來町字窪田部落では去る十六日より豚コレラ發生し既に八頭を撲殺したが尙傳染の懼れがあるので昨十七日縣より芳賀、吉田の兩獸醫が出張し豚の移動を禁じて傳染の豫防に當つて居るが病源は茨城より移入されたものであると

# 苗種栽培

## 講習會開催

石城郡大浦村農會では神谷農事試驗分場と協力し十九日午前九時より同村小學校に於て苗種栽培の講習會を開催する事となつたが講師は本場の川上技師であると

# 縣參事會員の

## 出納検査來平

縣參事會員井上、野崎兩氏外八名の一行は石城郡下の出納検査の爲め本日四倉町に集合明十九日より左記日割を以つて検査執行する事となつたので伏見町長其他は來平を機とし今夕六時より住吉屋本店にて歡迎會を催すと

# 磐崎麥増協議

郡警備村農會では來る十九日午後一時より村役場に於いて小麥増殖獎勵委員並に指導地の設置等に關し協議會を催すと

- ### 平職業紹介所報告
- 求人者の部
    - △自動車工見習 二十才以下 尋卒 月三圓(平窪村某)
    - △女中 三十才迄 尋卒 給料面談(平町某食堂)
    - △工場監督 五十才迄 高卒以上 月廿七圓(江名町某)
    - △賣子 三十才以下 尋卒 賣上の二割給(江名町某)
  - 回求職の部
    - △商店雜役 二十五才 高一修 給料面談(平町某)
    - △外交員 二十五才 佐賢 給料面談(夏井村某)
    - △女事務員 十八才 高女 卒 給料面談(湯本町某)
    - △事務員 三十四才 中三修 給料面談(平町某)

# 幕末の剣士

【禁轉載上演及映畫】  
悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第二百二十八席 眞庭念流の達人櫻井五助

下座敷から苦情

秋山要介は盲人に酒を馳走して百疋づつの金を與へ隠し藝を見せると註文した心得ましたとこれから三味線を弾く者もあれば粹な喉咽聞かせる者もあり、中には振り事を御覽に入れようと扇を持つて怪しい手振りで踊り、イヤ二階座敷の陽氣な事、床を踏破るかと思はれる許り、スルと此下座敷につ居たは武士二人これぞ神田お玉ヶ池に道場を開き居る千葉周作に門人渥見十藏

十「大分二階が騒がしいがこれは叶かぬ、塵が盆に入ります、先生、御覽なさいこの酒は飲めませぬぞ」  
周「在方の物持など参り宿の酌女でも招び騒ぎ居ることであらう」  
十「不埒な奴ですナ、己れ一人愉快をする迷惑を願ひぬとは手前勝手な奴だナ、コレ／＼静に致せ、亂暴な奴だナ、これは叶かん盃盃塵が入ります、眼前に酒を見ながら飲むこともならず又肴に箸をつけることもありません」  
周「怒るナ、夜の明けるとまで騒いで居る事もありません」



い、其内には遊び疲れて止めるであらう、其時ゆるゆるの食事をいたす、それまで待て」  
十「左様でもございませうが怪しからん奴で、一体金持は傲慢無禮でございます」

如何に金があればとて無法な事をいたしては免す事は出来ません、彼等は他人に迷惑を及ぼす事などはとんと意にかけませんコレ／＼廊下を通る女、ちよつと此處へ参れ」  
女「御用でございますか」  
十「無論用事があるから呼

んだ、二階に居る化物は何んだ」  
女中「なんでございます」  
十「二階に化けて居るは何者だ」  
女中「あの二階のお客様でございませうか」  
十「さうだ、頗る騒々しいがあれは在方の物持か」  
女中「お武家さまでございませう」  
十「なんだ武家だといよいよ怪しからん奴だ、その武家が女共を集めて狂ひ居るか」  
女中「イ、エ、」

此宿に居ります按摩摩さんを呼びまして藝をさせて見てお在になります」  
十「按摩を呼び寄せて、是は變り者だナ、先生お聞きになりましたか藝妓代りに按摩を呼んで遊び居るとの事でございませう」  
周「夫は面／＼ナ、宜い趣

向だナ、按摩の中には定めし藝人も居るであらう、藝妓代りに按摩を招ぎ銘々に藝をさせるとは奇抜だナ」  
十「按摩だけに盲滅法界に騒いで居ります」  
周「捨置け、其内には静まるであらう」  
十「なか／＼此様子では鎮まりませぬ、オヤ／＼カツボレを踊り居るぞコレ静かに致せと申すに、ア痛、い、棚から箱が落ちて来ました叱り付けて遣りませう」  
周「捨置けよ、狂人走れば不狂人與に走ると申す事もある。他の人の迷惑をいたし居るは先づ狂人である、その狂人に理窟を申しても分るまい」

十「左様でもございませうが、假りに武士でございませぬ、然すれば禮儀作法は存じ居る、ア痛、い、又何か落ちて来ました、不埒者め」  
と渥見十藏は大層怒り周作の留めるを肯かず裏梯子から二階へ駆け上り、ツカ／＼と踊り狂ひ居る部屋に入つて見ると按摩は廿人餘り居り、正面の床を背にして坐して居るは立派な武家それと列んで家来とも思はれる者が酒を飲んでゐる十「それなるお武家」  
と呼ばれて秋山が  
要「何んだ、コレそれに佇みしや、にて俺に詞をかけるとは無禮であらう、此處は住来では無いぞ座敷だぞ、用事があれば座に著いて申せ」  
十「イヤ無禮者とは貴公の事であらう、手前は今宵此

家へ一泊いたした者であるが、この部屋にて多勢踊り狂ひ居る故下の部屋に塵が落ちそれが爲に食物を汚すその上棚から物が落ちて頭に當り誠に迷惑いたす、静かに致しけれ」  
要「これにて遊び居るが迷惑か、貴様の居る部屋にて塵が落ちたとあらば他の部屋に引移れ、それを塵の落つる部屋にしん妙に控へ居る上は苦情を申す事はあるまい、承知にて塵にまみれて居る事だ、判つたか、さア、其處を去れ、邪魔だ」

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病 胃性

**林病** 腸胃病 十二指 腸虫病

院醫科 院醫科

院醫科 院醫科

**難波醫院** 平町新川町 電話五〇二番

**上田科醫院** 平町南町 電話二一九番

**市原醫院** 平町田町 電話一四四番

**石炭の大特賣**

●塊炭 正味十貫目 俵 金貳拾錢

●「品方良ク」「値方安ク」

「目方ハ正確」デス

▽トニカク一度……

●配達ハ一俵ヨリ致シマス

使ツテ見テ下サイ

御注文ハ

電話三七番

阿部石炭商店

平新川町十九

外産婦人科 木村病院

電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎

内臓外科 醫學士 内木宗八

泌尿器科

**季節御料理**

柳川 一人前 金二十五錢

うな井 金三十五錢

蒲焼 金五十五錢

右大々勉強出前迅速

◎滋養豊富!風味美味!

是非一度御試食を

大蒲焼・鳥料理

壽司・折詰仕出し

魚 榮

田町(電話四二四番)